



謹 賀 新 年

多摩ハンドサッカー倶楽部

代表：雪琢馬

明けましておめでとうございます。昨年は当倶楽部の活動にご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願いたします。

まもなく新型コロナウイルス感染症は全世界的に大流行し、人類の日常が奪われてから2年が経ちます。未だ終息どころか、日々新たな変異株により翻弄され続けている私たちであります。

昨年の当倶楽部は2008年の設立以来初めて、一年間通してハンドサッカーをやる事が出来ませんでした。日々会員からは「早くハンドサッカーをやりたい!」という声が聞こえております。その想いは私が一番強いかもしれませんが。そんな一年でしたが、そのような中でも会員たちは広報を続け、新たな仲間、支援者へと繋げてくれる事に心より感謝しています。

活動が出来ないものの、そのような中始まった企画もありました。一昨年12月に役員から「会員の誕生日を祝おう」という声で始まった誕生日企画では、会員や支援者の誕生日にみんなでお祝いする企画です。これによってコロナ禍で少なくなっていた会員同士のコミュニケーションが増えました。また7月には初めてオンライン会議を開催し、会員同士の交流する機会が作れ

ました。その他コロナ禍の後を見据えて、役員編成の見直しも行いました。そんな中、昨年12月の新規感染者数が少ない時期に中央大学に招いていただくことが出来ました。新型コロナウイルス感染症対策として当倶楽部からの参加者は2名と限られた人数ではありましたが、学生さんたちへ日々の体験を話すことが出来ました。このような状況下で招いて頂いた中央大学の先生には深く感謝申し上げます。

さて、今年3月からは当倶楽部は15周年になります。コロナ禍でハンドサッカーはできませんが、昨年末に開設した公式YouTubeチャンネルを活用し、ハンドサッカーの紹介動画を作成できればと考えております。

冒頭でも述べましたがコロナウイルスの終息の兆しはまだ見えませんが、終息した後には是非皆さんと一緒にハンドサッカーが出来ることを、当倶楽部会員一同心から願っております。

最後に今年一年が皆様にとって健康であることをお祈り申し上げますお祈り申し上げます。



2022年1月